

2021年11月10日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7917 URL <https://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理部門管掌 (氏名) 佐藤 道彦

TEL 03-5804-4221

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	61,828	5.8	5,763	6.5	6,094	5.9	4,214	11.7
2021年3月期第2四半期	58,465	0.8	5,409	12.8	5,754	18.2	3,772	20.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 4,947百万円 (21.7%) 2021年3月期第2四半期 4,064百万円 (24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	221.19	218.51
2021年3月期第2四半期	198.23	195.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	123,016	82,113	62.1	4,002.64
2021年3月期	117,393	77,941	61.8	3,811.40

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 76,371百万円 2021年3月期 72,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		35.00		40.00	75.00
2022年3月期		40.00			
2022年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	2.3	10,300	0.1	10,500	2.0	7,000	3.8	367.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	19,267,760 株	2021年3月期	19,267,760 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	187,360 株	2021年3月期	235,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	19,055,073 株	2021年3月期2Q	19,032,209 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス(COVID-19)のワクチン接種率の向上や各国政府の対策が進んだことに伴い景気は持ち直しの動きが見られるものの、世界的な半導体不足や原材料価格の上昇が懸念されるなど、先行き不透明な状況にあります。

このような環境の下、環境ソリューション事業、建築・土木資材事業では減収となりましたが、情報電子事業ではプロテクトフィルムの販売が好調だったことで増収となり、ウェルネス事業でも増収を確保したことから、当社グループの売上は前年同期比で増収となりました。

損益面では、当社昭和事業所での新設機械稼働等による減価償却費の増加、戦略費や研究開発費の投入、人材補強や本社移転に伴う固定費の増加等があったものの、情報電子事業を中心とした増収効果や海外子会社の収支改善などにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高618億28百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益57億63百万円(前年同期比6.5%増)、経常利益60億94百万円(前年同期比5.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益42億14百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、当社グループ中期計画の強力な推進を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「ライフサイエンス事業」、「情報電子事業」及び「建築・土木資材事業」の3区分から、「ウェルネス事業」、「環境ソリューション事業」、「情報電子事業」及び「建築・土木資材事業」の4区分に変更しております。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(ウェルネス事業)

医薬医療用包装材では前期比微減となったものの、バイオ医薬品製造用シングルユースバッグ及び関連製品で売上が前年を大幅に上回り、事業全体として増収となりました。

この結果、売上高は111億54百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

(環境ソリューション事業)

生活用品向包装材では、大容量の複数回詰替袋の売上を着実に伸ばし増収となりました。その一方、食品用包装材では前年第1四半期にスポット的な充填搬送システム販売があったことから前期比で売上が減少し、液体容器でも前年第1四半期に高まった消毒・除菌剤向け需要が今期では落ち着いていることから売上は前年を下回り、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は170億78百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

(情報電子事業)

ディスプレイ関連において、プロテクトフィルムは、テレビ画面の大型化に伴いパネル面積が拡大していることで受注が増加し、前年秋口より本格稼働した当社昭和事業所の新設機械による生産増も大きく寄与したことから、売上は前年を上回りました。電子部材関連においては、情報記録用材で、タブレット・スマートフォン向けはやや前年を下回ったものの、高速大容量の通信インフラ整備が進んでいることなどから、パソコン・サーバー向けの販売が堅調に推移し、増収となりました。

この結果、売上高は242億33百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

(建築・土木資材事業)

建築資材関連においては、煙突工事並びに空調用配管の販売は好調に推移しましたが、集合住宅向けボイドスラブ(床構造部材)の売上は前年を下回りました。土木資材関連については、トンネル用資材の売上が減少しました。

この結果、売上高は93億62百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	58,465	100.0	61,828	100.0	3,363	5.8
ウェルネス	10,752	18.4	11,154	18.0	401	3.7
環境ソリューション	17,931	30.7	17,078	27.6	△ 852	△ 4.8
情報電子	20,253	34.6	24,233	39.2	3,979	19.6
建築・土木資材	9,527	16.3	9,362	15.1	△ 164	△ 1.7
営業利益	5,409	9.3	5,763	9.3	354	6.5
ウェルネス	835	7.8	984	8.8	149	17.9
環境ソリューション	1,290	7.2	1,284	7.5	△ 6	△ 0.5
情報電子	2,172	10.7	2,569	10.6	397	18.3
建築・土木資材	1,111	11.7	925	9.9	△ 185	△ 16.7

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が減少しましたが、短期の有価証券や売上債権が増加したことにより、前年度末に対して56億23百万円増加の1,230億16百万円となりました。

負債は、借入金や未払法人税等が減少しましたが、仕入債務が増加したことなどにより、前年度末に対して14億51百万円増加の409億2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前年度末に対して41億72百万円増加の821億13百万円となり、自己資本比率は62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,980	7,580
受取手形及び売掛金	33,520	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	34,881
有価証券	15,297	18,897
商品及び製品	5,279	5,823
仕掛品	1,645	1,867
原材料及び貯蔵品	3,804	4,459
その他	2,324	2,383
貸倒引当金	△43	△45
流動資産合計	70,809	75,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,450	43,073
減価償却累計額	△25,037	△25,784
建物及び構築物（純額）	17,412	17,289
機械装置及び運搬具	58,405	60,046
減価償却累計額	△49,665	△51,167
機械装置及び運搬具（純額）	8,739	8,879
工具、器具及び備品	7,706	7,929
減価償却累計額	△6,547	△6,809
工具、器具及び備品（純額）	1,159	1,120
土地	8,130	8,214
建設仮勘定	2,306	3,044
その他	891	975
減価償却累計額	△309	△373
その他（純額）	582	601
有形固定資産合計	38,330	39,148
無形固定資産		
のれん	283	268
その他	777	748
無形固定資産合計	1,061	1,017
投資その他の資産		
投資有価証券	5,717	5,542
繰延税金資産	703	698
その他	812	788
貸倒引当金	△41	△26
投資その他の資産合計	7,191	7,002
固定資産合計	46,583	47,169
資産合計	117,393	123,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,763	23,257
短期借入金	1,643	966
未払金	3,455	3,552
未払法人税等	1,915	1,576
賞与引当金	1,484	1,616
役員賞与引当金	185	89
その他	1,567	2,379
流動負債合計	32,014	33,438
固定負債		
長期借入金	1,075	1,025
繰延税金負債	312	231
退職給付に係る負債	4,599	4,686
役員退職慰労引当金	576	579
その他	873	941
固定負債合計	7,436	7,463
負債合計	39,451	40,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,454	6,436
利益剰余金	57,358	60,811
自己株式	△502	△399
株主資本合計	69,910	73,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,175	2,051
為替換算調整勘定	425	841
退職給付に係る調整累計額	27	30
その他の包括利益累計額合計	2,628	2,922
新株予約権	523	466
非支配株主持分	4,878	5,274
純資産合計	77,941	82,113
負債純資産合計	117,393	123,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	58,465	61,828
売上原価	45,223	47,423
売上総利益	13,241	14,405
販売費及び一般管理費	7,832	8,642
営業利益	5,409	5,763
営業外収益		
受取利息	47	32
受取配当金	53	79
受取保険金及び配当金	47	31
為替差益	15	72
リサイクル収入	28	50
補助金収入	0	1
その他	191	90
営業外収益合計	385	359
営業外費用		
支払利息	12	10
売上割引	17	18
その他	10	0
営業外費用合計	40	28
経常利益	5,754	6,094
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	5	15
投資有価証券評価損	89	-
特別損失合計	94	15
税金等調整前四半期純利益	5,661	6,082
法人税、住民税及び事業税	1,710	1,548
法人税等調整額	△127	△17
法人税等合計	1,583	1,531
四半期純利益	4,078	4,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	305	336
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,772	4,214

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	4,078	4,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	357	△124
為替換算調整勘定	△376	517
退職給付に係る調整額	5	2
その他の包括利益合計	△13	395
四半期包括利益	4,064	4,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,842	4,509
非支配株主に係る四半期包括利益	222	437

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,661	6,082
減価償却費	2,228	2,600
のれん償却額	26	26
株式報酬費用	27	28
受取利息及び受取配当金	△101	△112
支払利息	12	10
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	56	78
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	221	129
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△87	△95
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,730	△302
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△199	△1,291
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,383	620
その他	△347	718
小計	7,177	8,494
利息及び配当金の受取額	101	112
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額	△1,053	△1,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,213	6,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,830	△2,953
有形固定資産の売却による収入	△1	2
無形固定資産の取得による支出	△41	△79
投資有価証券の取得による支出	△12	△4
投資有価証券の売却による収入	-	1
その他	61	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,824	△3,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△305	△719
長期借入金の返済による支出	△100	△94
自己株式の売却による収入	-	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△666	△761
非支配株主への配当金の支払額	△46	△66
その他	△26	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,144	△1,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	130	2,199
現金及び現金同等物の期首残高	23,296	24,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,427	26,478

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる主な変更点は以下のとおりです。

・代理人取引に係る収益認識

一部の取引について、従来は、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしています。

・有償支給に係る収益認識

買戻し契約に該当する有償支給取引については、一部の取引において従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,099百万円減少し、売上原価は1,099百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に変更はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	建築・土木 資材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,752	17,931	20,253	9,527	58,465	-	58,465
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	96	381	0	637	△637	-
計	10,911	18,028	20,635	9,527	59,103	△637	58,465
セグメント利益	835	1,290	2,172	1,111	5,409	-	5,409

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	建築・土木 資材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,154	17,078	24,233	9,362	61,828	-	61,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	152	121	457	0	732	△732	-
計	11,306	17,200	24,690	9,363	62,561	△732	61,828
セグメント利益	984	1,284	2,569	925	5,763	-	5,763

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、当社グループ中期計画の強力な推進を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「ライフサイエンス事業」、「情報電子事業」及び「建築・土木資材事業」の3区分から、「ウェルネス事業」、「環境ソリューション事業」、「情報電子事業」及び「建築・土木資材事業」の4区分に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、第1四半期連結会計期間より、従来「建築資材事業」としていた報告セグメントの名称を「建築・土木資材事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	市場区分	主要製品
ウェルネス	医薬・医療関連	医薬・医療用包装材 バイオ医薬品製造用シングルユースバッグ及び関連製品 医療機器及び体外診断薬関連製品
環境ソリューション	生活用品・食品関連他	生活用品向包装材(粧業包装/詰替パウチ) 食品用包装材 プラスチック製液体容器(バッグインボックス等)
情報電子	ディスプレイ関連	プロテクトフィルム(偏光板用プロテクト等) 剥離フィルム
	電子部材関連他	情報記録用材(層間絶縁フィルム等) 剥離フィルム その他情報関連機器用材
建築・土木資材	建築資材関連	ビル用煙突、ボイドスラブ、空調用配管
	土木資材関連	トンネル用資材